

令和2年度第1回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 令和2年7月2日（木）午後1時から午後2時20分
- 2 場 所 富里市役所本庁舎3階第3会議室
- 3 出席者 （委員）（順不同、敬称略）
小川加苗、秋元和子、寒郡茂樹、根本実、原幸司、吉田武重、
海宝敦、布川好夫
（アドバイザー）中山健
（事務局）市民経済環境部長、農政課長、商工観光課長、
商工観光課事務局
傍聴者なし

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 富里市産業振興ビジョンの進捗状況について
 - (2) 富里市観光振興アクションプランの進捗状況について
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

〔会議概要〕

- 1 開 会
過半数以上の委員の出席により、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により会議は成立
- 2 会長あいさつ
（寒郡会長あいさつ）
事務局 富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、会長が議長となり議事を進行する。

商工観光課長 議題に入る前に、富里市の産業について、昨年度からの状況をご報告いたします。昨年度、台風により、農業は大きな被害を受けました。

その復旧から間もないまま、今度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、すいかの名産地富里、すいかを目玉にした大きなイベント、「すいかまつり」「スイカロードレース大会」「スイカオーナー制度」について、感染防止対策のため中止とせざるを得ない結果となりました。そこで、台風による被害を乗り越え、コロナウイルスにも影響されず、今年も美味しいすいかが出来ましたということと、来年度のイベントのPRも含めた動画をインターネットで配信いたしました。皆様にもご覧になっていただければと思います。

(富里市PR動画)

また、今年度当初より、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発出されました。これに伴い、商業や工業等の市内経済について大きな影響を受けております。そのような中、富里市独自の支援策といたしまして、一部の事業者に限られておりますが、国や県の給付金が届く前に、スピード感をもって一律10万円の給付金の制度を構築して、給付をしているところでございます。今後も市では、経済活動の正常化、そして地域産業の復興に向けて様々な対策を検討していきたいと考えております。

3 【議題1】

「富里市産業振興ビジョンの進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。

(資料により説明)

会 長 今、緊急経済対策を色々されていて、セーフティネット4号認定、5号認定、危機関連保証の数字をお聞きしました。数も多いという印象を受けました。富里市は迅速に対応していることはいいことなので、次回の報告になると思いますが、もう少し詳細に記載していただければと思います。当初の予定の中で、中小企業の資金融資制度等の検証もありますが、常にやっている訳で、それに加え、国や県のサポートもたくさんある訳ですから、その部分をもっと明確にして市民の方にも分かっていたいくことをやられた方がいいと考えます。また、飲食関連小規模事業者に対する10万円の支援についても、英断していただいて非常にありがたかったと思います。商工会長の立場としては、

特に小規模事業者全般にやっていただければありがたかったと思います。予算的なことや、今後のことを考えると難しい部分もあると思いますが、迅速に対応頂いてありがたかったと思っております。また、空港との共生について、特に小規模企業よりも中堅の中で一番影響を受けているのは、空港関連産業で、ケータリング会社等は売上が95%減、また人材派遣会社等も20%から30%しか売り上げがないという状況になっている。できればこうした企業についても、ヒアリングをしていただいて、現状を分かっていた上で、もしできることがあれば、生かして行っていただきたいというのが率直な気持ちです。PDCAで回すということですが、コロナ後を考えるともう少し施策的に変えて行くことなど議論をさせていただければと思います。その他、委員の皆様よりコメントはありますでしょうか。

A委員 　　去年は台風もあり、ハウスの倒壊や抑制スイカが出せなくなるなどもありました。そうした中で国の方に市長をはじめ色々と要請していただいて、現在はハウスの方もあらかた復興といった段階で、今年のトマトを作る方については、だいたいハウスで、できるといったところでもあります。すいかの方も、これから先の話になってしまいますが、すいかの里支援事業などの中で、こういうサポート支援があることから、台風の影響がある中で、すいか栽培をやめた方・やめる方は本当に少なかったという思いであります。続けてこういうすいかの里支援をしていただければと思います。ありがとうございます。

新規就農者、認定農業者のところで、富里管内では毎年継続的に後継ぎや新たな方にやっていただいていることはいいことだと思います。先ほどの話には出なかったですが、有害鳥獣関係で新しく、有害鳥獣実施隊を作ったことはいいことだと思います。毎月ハクビシン等の有害鳥獣を捕獲して処理していただいているのを農協の広報誌に載せております。5ページに30年度の結果と去年は、ハクビシン92頭、アライグマ38頭、たぬき38頭といったところが載っております。また最近ではイノシシが出没したことや、この間は、ニュースでサルが来ているというのもあります。そうしたことから、有害鳥獣については今後も力を入れていただきたいと思います。また、農協の方でも、できるだけ支援をしておりますが、そういったところで評価させてい

ただければと思います。以上です。

B 委員 こういった状況のため、大幅な計画の変更もあると思いますが、富里市に関しては飲食関連小規模事業者の支援や一人10万円の給付についても速やかに対応していただいていると聞いております。

小規模事業者の支援について、全ての業種について対応するのは難しいと理解した上で、飲食店などの分かりやすい業種については、国や行政、一般市民からの支援を受けやすい。しかしながら、分かりにくい業種というのもあり、そういうところは国も行政も一般市民からも支援を受けられずに廃業していくというのが、ちらほら見えております。すべての業種を把握することは極めて困難だと思いますが、少しでも把握して、手を差し伸べる。私が見る限り、一番初めに廃業した業種はそんなに莫大な資金が必要だった訳ではなく、ちょっとした支援で何とかあったところもあるので、なかなか見えないところは大変ですが、少しでも情報収集できれば、救える事業者も増えていくのではないかと。マスコミ報道では全くそういうところは出てこないもので、気になるところでございます。以上です。

C 委員 今回の新型コロナウイルス関連で事業者、農家の皆様がかなりご苦労されていると聞いております。市でできることは速やかにやっていただいて、そのひとつが先ほどの話にも出た飲食店向けの支援についてで、すでに6割、7割達成できていると聞いておりますし、少ない予算ではありますが、その中でスピーディーにやっていただいておりますが、たかたかという意見も聞いておりますので、これについては評価していいのではないかと思います。支援関係、融資について、先ほどの報告を見ますと年度内では、セーフティネット4号については8件、それ以降は新型コロナウイルス関連で6月末までで122件、セーフティネット5号については11件という話ですが、それ以外に国で行っている新型コロナ特別融資があったりして、業者としては選択肢が色々あって何がどう有利なのか、なかなか明確なお示しができない状況で、分かりづらい部分もあったりしたのですが、商工観光課に行ったら丁寧に教えてくれたという声もいただいておりますので、引き続き丁寧をお願いしたいと思っております。また、雇用関係について、横芝光

町でイベントがあって市内在住者6名が参加したということですが、そこに参加された方で、仕事が決まったなどの情報も載せていただけるといいかと思います。参加することで仕事が決まることがこれから重要になってくるのではないかと思います。新型コロナウイルスで職を離した方にとっても重要になってくるのではないかと考えておりますので、よろしく願いいたします。あと、全体的には、非常によくまとまっておりますので、引き続きよろしく願いしたいと思っております。

D委員 昨年度の事業評価ということですがけれども、会長からもお話があったように、なかなか時期的にもそういう話になりづらいということもありまして、本日色々な支援の話についても聞かせていただいて、やはり住民の方と近い距離にある市役所、市の方々は実に速やかに色々な対応をしていらっしゃるのだと、農業や飲食業の方への支援など、実に参考になる。逆に県としては反省しなければいけないと勉強させていただきました。昨年は台風があった中で、すいかの里の支援など、色々と支援を続けられて、農業をやめられる方が少なかったなど非常にいいなと思いました。富里市の迅速な対応、とてもよく住民の方に対して支援されているなど勉強になりました。ありがとうございました。以上です。

アドバイザー 先ほどビデオを見せていただいて、ああいう風に、コロナ後がいつになるか分からないですが、温泉地などでよく言われているのが、今は観光に行けないですけれども、常に継続的に広告を出し続ける。観光地としては常に観光地の楽しさを伝え続ける。そうすると行きたいという気持ちが段々高まってくる。コロナが収束したあとにどっと来る。広告を絶やささない。そうしないと忘れ去られてしまったり、行かなくなってしまったりするので、こうしてビデオやユーチューブは継続的にやっていただきたい。バージョンを変えて出すなどやっていただきたいと思います。また、独自の資金的な支援を色々されているところは評価したいと思います。なかなか、吸い上げられない事業者もいらっしゃるしまして、例えばフリーランスの事業者が増え、なかなか見えない事業者などの声を聞いていく。また、資金面は国の制度、県

の制度や自治体の制度は、段々よくなってきていますので、こういった意味での資金繰りの支援、資金繰りができないと倒産してしまいますので、ここはだいぶできています。これからはお金以外の支援も必要になってくる。経営相談ですけれども、お金は補助金がついて継続できそうだけれども、お客様が来なくなってしまった。行列ができるお店、行列ができる会社という概念、言葉が通用しなくなってきた時代、その中でどう商品売るか考えなければいけない。つまり、一ヶ所に客が来る、集める販売はできない。テイクアウトに変えるなど飲食店はやっていますけれども、こういった形で、色々工夫を凝らさなければならぬし、新しい動きが色々出てきていますので、そういった形で経営相談できる部分など、専門家の派遣など、成功事例の話などをしていただくといった支援などをして、資金の部分と両輪だと思います。資金的にしっかりしながら売上を上げていく、それから経営の部分、その両輪を回していくというような形が今年度の課題になると思いますので、期待していきたいと思います。以上です。

3 【議題2】

「富里市観光振興アクションプランの進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。

(資料により説明)

会 長 説明がありましたがご意見等ありますでしょうか。私から2点ほどあります。まず、商工観光課で作られている富里市観光振興アクションプラン、観光振興大綱を見させていただいておりますが、非常に内容が充実しておりますし、それぞれ詳細に渡ってアクションプランが作られております。それを推進する観光協会がひとつのポイントだと思いますけれども、観光協会もそうですが、アクションプランももっと民間のボランティア団体等を巻き込んでいいのではというのを常々感じています。例えば、こういうことは民間のボランティアさんに直接お願いしてやってもらうとか、観光協会のような広域的なこともあるだろうけれども、もっと細かくていいのではないかということをやったらどうかと思います。これからコロナ後、また人がとんどん出て来るときにぜひ富里に来ていただきたい。空港活用もそうですが、も

っと人を巻き込んで、市民活動推進課との連携もあってはいいのではと考えております。アクションプランの内容はいいものなので、人の巻き込み方が少ないので、それをぜひお願いしたい。それから観光拠点の旧岩崎家末廣別邸を年内公開というのは一歩前進だと思いますが、観光の拠点が無いので、旧岩崎家末廣別邸をどういう風に活用するかは、市の内部で旧岩崎家末廣別邸を観光という位置づけにするべきではないかと。建物に関しては、歴史的な文化遺産として丁寧に扱って、あの部分で観光という拠点を作らなければ、素材として色々ありますが、柱がないので、思い切ってコロナで予算はないと思いますが、やっていただきたい。今しかやれないと思いますので、内部でよく検討していただきたいと思います。以上2点です。

B 委員　これから大枠な話になりますが、コロナ後、コロナ後と皆さんいいますが、コロナ後がいつになるか当然分からない中で、観光をどう動かしていくかは非常に難しいと思います。幸か不幸か、小規模事業者の若手経営者の皆様は苦しみながらもなんとかやっていっている中で、こういう人たちは頭の中をある程度白紙に戻して、既成概念にとらわれないでやっていこうという人が多い。そういうところから何か新しい、全く想像もしなかった新しい観光の形という意味でも面白いのではないかと思います。漠然とした話になってしまいますが。それぐらい新しいものが生まれてくるのであれば、富里の観光が躍進できるきっかけになるのではないかと思います。

C 委員　今たぶん観光といいますと、非常に行きづらい、来づらい状況にあると思います。今後のことを考えるとある程度この時期に考えて行かないと、いつなのだと考えているだけでは遅いという気はしています。成田空港との共存共栄を出すのであれば、これからどんどんどんどんスタートして、県、空港、国の力を借りながらやれるのかな。富里も遠慮しないでどんどん活用していけるような流れを作っていただきたい。その中でどこと手を結んで、観光をやっていくのか考えていかなければいけない。他は早い手を打っています。成田市は場外市場完成とともに観光事業を行うという話も聞いています。色んな意味で一緒になって乗れるような活用の仕方、方向性でお願いしたいと思います。

D委員 今後のことについて考えなければいけないと思います。例えば、今まででしたらイベントや最近ではインバウンドなどを中心にやってきたものが、これからは難しくなってくると思います。少なくとも今まで通りではいかなくなると思いますので、そこは県の観光物産協会、県の観光、各市町村の観光部署、観光協会の方と今後どうするか考えていかなければいけないと思っております。

アドバイザー コロナ後はなかなか予想がつかないのですけれども、ワクチンが出来て1億2千万人がワクチンを接種してということを考えますと、2年先くらいにはなってくるかと思いますが、それくらい長期的なスパンで考えなければならぬ。では、2年間くらいでどうやっていくか。イベント的なことはできない。人が集まることができませんので、テイクアウトにしても、人が行くのは面倒。外出できないので。となるとこっちから出かけていくしかない。テイクアウトをもう一步進化させて、宅配もしてしまう。都会では全く違う業者、例えばウーバーイーツ等それもフリーランス、アルバイトも兼ねてやっている人がいる。発想を変えなければいけないですし、ビジネスモデルを組み替えて新しいサービスをどう提供するか、経営者、事業者はそれぞれ考えていくというのがコロナの中でのやり方で、その中で新しいビジネスは出て来ると思います。

3 【議題3】

「その他」について、事務局より説明をお願いします。

事務局 「評価シートの提出方法について」
「次回の会議開催の予定について」
「今後のスケジュールについて」

会 長 それでは、以上で議事を終了します。

4 その他

商工観光課長 本日資料としてお配りしました、黄色いパンフレットがございます。

こちらが富里市で実施している独自の支援パッケージでございます。
現在、第2弾のパッケージを皆様にお配りしております。

事務局　それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回富里市産業振興推
進会議を閉会いたします。ありがとうございました。

5　閉　会